

スーパー耐久の開幕戦は三重県の鈴鹿サーキットで開催されます。2年連続で表彰台と相性の良いコースです。

今季はAドライバー村上博幸、Bドライバー山谷直樹、Cドライバーに新しく中島保典、Dドライバー梶谷太郎で戦います。



3月22日金曜日 占有枠

朝の枠は村上がコースイン。事前のテストもしっかりしてきたのでフィーリングも良くクラストップタイムです。2枠目は全車の混走でしたがここでECUのマッピングのトラブルで空燃比が濃くなりクラス7位のタイム。原因が解らずメカも全力で対処しますが症状が改善せず・・・。

3月23日土曜日 公式予選

朝一の占有枠も空燃比のトラブルの改善に時間を遣いますが改善せず。そのまま予選に挑みます。まずはAドライバーの村上がクラス4位の2分23秒7、Bドライバーの山谷が2分23秒3で合算でクラス5位で決勝に挑みます。

予選 クラス5位

3月24日日曜日 決勝

決勝はお昼の12時半から5時間のレースになります。Aドライバーの村上がスタートドライバーを務めます。ローリングスタートして序盤はタイヤの温まりが悪くパスされてしまいますが予定通りのペースで前を追い掛けます。1時間過ぎたところでSCYが入りタイミングよく山谷選手に交代。ストレートスピードで負けるフィットを抜くことが難しく、抜いてもまたストレートで抜き返されるを繰り返しながら淡々と2時間を走り2位を走行中にスプーンの入りでST-Xの車両に横から当てられてそのままスポンジバリアまで飛んで大クラッシュに巻き込まれてしまい走行不能でそのままリタイヤとなりました。

く、抜いてもまたストレートで抜き返されるを繰り返しながら淡々と2時間を走り2位を走行中にスプーンの入りでST-Xの車両に横から当てられてそのままスポンジバリアまで飛んで大クラッシュに巻き込まれてしまい走行不能でそのままリタイヤとなりました。

総括 チームオーナー兼ドライバー 村上

幸いドライバーも大きな怪我もなく一安心です。こちらのドライバーは直線でステアリングも切り込んで無く落ち度はないですがレースでの事故ではお互いに自己責任ということですが、今回の事故の損害は大きくボディーは歪んで全損です。改めてレースの危険、厳しさを痛感しました。

もう一度レースカーを製作となるとかなりの負担がありますがファンの応援メッセージを頂きやはり走らせないといけないと思います。ぜひ皆様の協力よろしくお願いします。

